

コンゴ民主共和国：2015年1月の反政府抗議運動への当局の対応に関する情報

コンゴ民主共和国の「国家情報機関（Agence Nationale de Renseignements／ANR）ないし政府与党による、2015年1月10日に行われた ECiDe の反政府会議や同月19日に行われた国会議事堂を目的地とするデモに参加した者に対する逮捕、訴追ないし暗殺、その実例」に関する調査依頼に対し、難民研究フォーラムが規定の時間的制約の中で調査したところ、関連しうる情報として以下の情報が見つかりました。

略称：	1
1. 2015年1月の選挙法改正法案に係る政治状況	1
2. 2015年1月の抗議運動に係る当局による反対派への弾圧状況と事例	4
参照：	16

略称：

ACLED	武力紛争位置・事件データプロジェクト [The Armed Conflict Location & Event Data Project]
AFP	フランス通信社 [Agence France-Presse]
AI	アムネスティ・インターナショナル [Amnesty International]
BAMF	ドイツ連邦移民難民庁 [Bundesamt für Migration und Flüchtlinge]
HRW	ヒューマン・ライツ・ウォッチ [Human Rights Watch]
Lifos	スウェーデン移民庁法律及び出身国情報専門機関
UNJHRO	国際連合同人権事務所 [The United Nations Joint Human Rights Office]

1. 2015年1月の選挙法改正法案に係る政治状況

ア Lifos [「コンゴ民主共和国：野党メンバーの状況」](#)（2016年5月17日）<EUAA COI Portal 収録>

3. 今回の選挙戦の背景

…

2015年1月5日、エバリスト・ボシャブ [Evariste Boshab] 内務大臣は、国勢調査後に選挙を予定する選挙法改正案を提示した。コンゴ民主共和国での国勢調査には実現に時間がかかる可能性が高いため、この提案は野党によってカビラ政権を長引かせる試みと解釈された。2015年1月19日から22日にかけて、キンシャサをはじめとするいくつかの都市でデモ隊と治安部隊が激しく衝突した後、国会は論争的となった文言を削除した選挙法をようやく採択した。[注7]

<原文> Den 5 januari 2015 framlade inrikesminister Evariste Boshab förslag om att revidera landets vallag och därigenom förlägga valet efter en folkräkning. Förslaget tolkades av oppositionella som ett försök att förlänga Kabilas styre, eftersom en folkräkning i DRK sannolikt skulle ta lång tid att förverkliga. Efter våldsamma sammandrabbningar mellan demonstranter och säkerhetsstyrkor i Kinshasa och flera andra städer den 19 - 22 januari 2015 antog parlamentet slutligen en vallag där den omstridda lydelsen tagits bort.⁷

...

脚注 7 AI, Treated Like Criminals: DRC's Race To Silence Dissent In The Run Up To Elections, s. 10; Jeune Afrique: RDC: bilan officiel, conséquences politiques... Retour sur les manifestations de janvier. 6 februari 2015, <http://www.jeuneafrique.com/Article/ARTJAWEB20150206085533/politique-josephkabilaopposition-rdc-pr-sidentielle-rdc-2016-pr-sidentielle-rdc-2016-rdc-bilan-officiel-consquencespolitiques-retour-sur-les-manifestations-de-janvier.html> (hämtad 2015-12-15)

※ 原文スウェーデン語。訳文は、DeepL.com（無料版）による機械訳を基に修正を加えた仮訳です。

イ 記事「[コンゴ民主共和国：野党が新選挙法案の審議を阻止しようと動く](#)」Voice of America（2015年1月12日）

月曜日の野党の戦術は、新選挙法の審査に充てられる国民議会の本会議を妨害することであった。

反対派は、政府が提出した法案を、選挙を実施することなくカビラ大統領の任期を2016年以降も延長するための大統領多数派による戦術だと非難している。

...

野党は週末に会合を開き、法案通過予定日にデモを行うよう呼びかけた。

しかし、金曜日からキンシャサ全域に治安部隊が展開し、日曜日と月曜日に国会付近でデモが行われるのをすでに阻止していた。

いくつかの話し合いの後、野党は最終的に会期を退席し、この法案の議論を国会多数派に委ね、法案は修正のための委員会に送られる予定となった。

<原文> Brouhaha, coup de sifflets interminables et tapages en tout genre ont constitué la tactique de l'opposition lundi pour perturber la plénière de l'Assemblée nationale consacrée à l'examen de la nouvelle loi électorale.

Les opposants dénoncent ce projet de loi déposé par le gouvernement comme une tactique de la majorité présidentielle pour prolonger le mandat du président Kabila au-delà de 2016 sans passer par les élections.

...

L'opposition s'est réunie le week-end et a appelé à des manifestations au jour où ce projet de loi devra être adopté.

Mais les forces de sécurité déployées depuis vendredi à travers Kinshasa, ont déjà empêché la tenue des manifestations dimanche et lundi près du parlement.

Après bousculade, l'opposition est finalement sortie de la séance, laissant la majorité discuter de cette loi qui devra être envoyée à une commission pour amendement.

※ 原文フランス語。訳文は、DeepL.com（無料版）による機械訳を基に修正を加えた仮訳です。

ウ 記事「[コンゴ民主共和国：選挙法改正法案を巡って緊張が高まる](#)」Jeune Afrique
(2015 年 1 月 12 日)

「2011 年 11 月 28 日の大統領選挙と立法委員選挙からゲームは始まったのであり、選挙サイクルは地方選挙と上院議員選挙で継続されなければならない」と、野党プラットフォーム「ソヴォン・ル・コンゴ [Sauvons la RDC]」のコーディネーターであるマルティン・ファユル議員は説明する。「2,345,000 平方キロメートルを超える国で、インフラも選挙技術も財源もない政府が、どうして 1 年足らずで国勢調査を実施できると主張できるのか？

月曜日に予定されていた本会議が開催されるのを阻止するため、「私たちは活動家たちとともに、私たちの本部のほとんどがあるトリオンファル大通り（キンシャサの、国民議会からそう遠くない場所、編集者注）に集まった。しかし警察は、前日に私たちの集会を襲撃したときと同じ蛮行で、私たちを解散させるために勢力を展開した」と野党指導者は非難している。

<原文> "C'est un projet de loi inopportun : le match a commencé le 28 novembre 2011 avec la présidentielle et les législatives, le cycle électoral doit se poursuivre notamment avec les provinciales et les sénatoriales", explique le député Martin Fayulu, coordonnateur de la plateforme de l'opposition "Sauvons la RDC". "Comment le gouvernement peut-il prétendre être capable d'organiser un recensement en moins d'une année dans un pays de plus de 2 345 000 km², sans infrastructures, sans compétences électorales, sans moyens financiers ?", s'interroge-t-il.

Pour empêcher la tenue de la plénière prévue ce lundi, "nous nous sommes donc rassemblés avec nos militants sur le boulevard triomphal [à Kinshasa, non loin de l'Assemblée nationale, NDRL] où se trouvent la plupart de nos sièges. Mais la police a déployé ses forces pour nous disperser avec la même barbarie que lors de leur descente de la veille contre notre meeting", accuse l'opposant.

※ 原文フランス語。訳文は、DeepL.com（無料版）による機械訳を基に修正を加えた仮訳です。

エ AI「[訴えを棄却する！ 2015 年から 2018 年間の残虐な弾圧の犠牲者への正義が否定される](#)」（2020 年 6 月 16 日）<米国司法省 COI 収録>

3.2 「順延〔GLISSEMENT〕」：長く引き延ばされた選挙プロセス

…

2015 年 1 月 17 日、国民議会（下院）は国勢調査が完了するまで国会議員選挙及び大統領選挙の延期を認める選挙法改正案を賛成多数で可決したが〔注 24〕、この動きはカビラの支配を長引かせるための新たな戦略と野党によって解釈された〔注 25〕。このことが、1 月 19 日から 21 日にかけての広範な抗議デモを喚起させたが〔注 26〕、この抗議デモは残忍なやり方で対応され、国連によると、少なくとも 43 人が治安部隊により殺害された〔注 27〕。1 月 24 日、この条文が除かれ、緊張は収まった。

…

※脚注の内容は、原文をご覧ください。

オ 記事「[コンゴ民主共和国でカビラ支配に数千人が抗議し、死傷者を出す衝突](#)」
AFP via France 24（2015 年 1 月 19 日（同月 20 日修正））

午前 8 時（世界標準時 7 時）から、警察と共和国警備隊のエリート部隊が国会議事堂を封鎖した。国会議事堂では、土曜日、下院が物議を醸す法案を通過させていた。

2. 2015 年 1 月の抗議運動に係る当局による反対派への弾圧状況と事例

ア Lifos「[コンゴ民主共和国：野党メンバーの状況](#)」（2016 年 5 月 17 日）<EUAA COI Portal 収録>

同様に、政治活動家も、上位と下位のいずれの政治活動家も、寛容のレベルを超えれば、標的にされる可能性がある。Lifos の調査によると、野党と国会多数派の両方の政治家が、選挙法改正や大統領の 3 期目就任に反対する発言をした後に投獄されている。しかし、選挙プロセスに関連した人権侵害にさらされているのは、ほとんどが野党のメンバーであるようだ。

さらに、野党関係者の家族もが、逮捕や脅迫など、国家からの嫌がらせにさらされている。

国家からの対応には、組織的なものと恣意的なものがあるようだ。組織的なアプローチには、若者や特定の人権団体、大統領の 3 期目就任に反対する人々に対する特別な注意が含まれているようだ。また、反体制派の活動を鎮圧するために司法や諜報機関（ANR）を利用することもあるようだ。その一方で、恣意的な行動は、例えば、2015 年 1 月の抗議デモに対する暴力的な弾圧のほか、ある種のインターネット上での表明に対する反応において見ることができる。

4.1. 全体的な展開

…

アムネスティ・インターナショナル (AI) は、大統領の任期延長や選挙延期に反対する政治家や活動家に対する弾圧の一環であると考えられる恣意的な逮捕や身柄拘束のパターンについて報告した。[注 22]

国連合同人権事務所 (UNJHRO) は、2015 年 9 月末にキンシャサで開催された会合において、治安部隊による暴力行為や人権侵害の件数が 2014 年に比べて増加していることを明らかにした。UNJHRO は、2015 年 1 月から 8 月までの期間に 2,200 件の暴力行為を記録したが、2014 年は年間で 2,330 件であった。これらの行為には、生命の権利等に対する人権侵害が含まれ、警察、コンゴ国家警察 (PNC)、コンゴ民主共和国軍 (FARDC)、治安機関、国家情報機関 [Agence nationale de renseignements/ANR] によって行われた。この選挙期間中の騒乱やデモに対する治安部隊の武力行使は、過剰なものであったと判断された。[注 23]

国連事務所の 2015 年 12 月の報告書によると、政府の行動を批判する人々に対して表現の自由が制限され、治安が侵害されている傾向が見て取れる。野党のメンバー、市民社会、メディア関係者は、選挙プロセスに関連する人権侵害に特に脆弱であると報告されている。[注 24]

<原文>4.1 Övergripande utveckling

Amnesty International (AI) har rapporterat om ett mönster av godtyckliga arresteringar och frihetsberövanden som man anser vara del av en tillslagskampanj mot politiker och aktivister som uttalat sig eller fredligt mobiliserat mot försök att förlänga presidentens mandatperiod eller försena valen.²²

FN:s människorättskontor United Nations Joint Human Rights Office (UNJHRO) uppgav vid möte i Kinshasa i slutet av september 2015 att antalet våldshandlingar och brott mot mänskliga rättigheter utförda av säkerhetsstyrkor hade ökat i jämförelse med 2014. UNJHRO noterade 2200 våldshandlingar under perioden januari - augusti 2015, vilket kunde jämföras med 2330 under hela 2014. Handlingarna innefattade brott mot mänskliga rättigheter såsom rätten till liv och förövarna i fråga var såväl polisen, Police nationale congolaise (PNC), armén Forces armées de la République Démocratique du Congo (FARDC), som säkerhetstjänsten Agence nationale de renseignements (ANR). Säkerhetsstyrkornas våldsanvändning under oroligheter och demonstrationer under denna valperiod bedömdes ha varit oproportionerlig.²³

Enligt FN-kontorets rapport från i december 2015 kan en trend skönjas där yttrandefriheten begränsats och säkerheten kränkts för de som förhåller sig kritiska till regeringens agerande. Särskilt utsatta för människorättsbrott relaterade till valprocessen uppgavs medlemmar av oppositionella partier, civilsamhälle och aktörer inom media ha

varit.²⁴

注 22 AI, Treated Like Criminals: DRC's Race To Silence Dissent In The Run Up To Elections, s. 44

注 23 United Nations Joint Human Rights Office (UNJHRO), samtal i Kinshasa, September 2015

注 24 OHCHR, United Nations Organization Stabilization Mission in the Democratic Republic of the Congo, Report of the United Nations Joint Human Rights Office on Human Rights and Fundamental Freedoms During the Pre-Electoral Period in the Democratic Republic of the Congo between 1 January and 30 September 2015, December 2015, s. 4

※ 原文スウェーデン語。訳文は、DeepL.com（無料版）による機械訳を基に修正を加えた仮訳です。

イ [UNJHRO「コンゴ民主共和国における 2015 年 1 月 1 日から 9 月 30 日までの選挙前期間の人権及び基本的自由に関する国連合同事務所報告」](#)（2015 年 12 月）

II. 序文

...

10. 2015 年の始まりは、国家機関による政治的な権利と市民の自由の侵害の増加により損なわれた。2015 年 1 月、いくつかの州では、国防軍や治安部隊による民衆デモへの暴力的な弾圧が行われた。これらの出来事は、選挙法案の条文と、この条文が選挙期日の尊重に及ぼす影響、またカビラ大統領が 3 期目出馬の可能性を示唆したことに対する抗議において行われた。
11. この種の事件の数は 2015 年 3 月以降減少したにもかかわらず、2015 年 7 月以降、市民社会活動家やメディア関係者に対する脅迫、恣意的な逮捕、司法操作が再燃している事実に UNJHRO は気づいている。この傾向は、表現の自由を制限し、政府の行動に批判的な立場をとる人々の安全を侵害しようとする決意を示している。
12. 2015 年 1 月 1 日以降、UNJHRO はコンゴ全土で選挙プロセスに関連した 143 件の人権侵害を記録した。これらの侵害は、主に市民社会や野党の活動が活発な州 [注 3]、あるいは政治的多数派と野党の両方が追及している州で起こっており、主としてキンシャサ州 (33 件)、北キヴ州 (27 件)、南キヴ州 (20 件)、東カサイ州 (18 件)、オリエンタル州 (17 件) 及び西カサイ州 (11 件) で発生した。
13. 最も多く報告されているのは、人身の自由と安全に対する権利 (42 件) と表現の自由 (41 件) である。被害者は主に野党 (111 件) 及び市民社会 (50 件) のほか、メディア関係者 (22 件) であった。主な加害者は、コンゴ国家警察 (PNC)

(69 件) と国家情報機関 (ANR) (24 件) であった。

IV. 背景と制度的な枠組み

...

20. 2015 年 1 月 17 日、国民議会は、2016 年の大統領選挙と国会選挙の実施を国勢調査の実施に条件付ける条文を含む法律案を採択した [注 11]。この国勢調査に関連する技術的・財政的困難のため、多くの市民社会関係者と野党は、この条文を、カビラ大統領が 2016 年以降も任期を延長できるようにするための選挙期日の「順延 [glissement]」 [注 12] を目指した政治的な策略と解釈した。この法律案への不満から、2015 年 1 月、野党指導者や市民社会関係者によって組織されたデモが全国各地で行われたが、その多くは暴力的なものであった。これらのデモのほとんどは、警察や国軍部隊によって暴力的に弾圧された。

VI. 人権侵害

...

1. 生命及び身体的な完全性の権利

49. 調査対象期間中、UNJHRO は、30 人の犠牲者に影響を与えた生命に対する権利の侵害に係る 8 件を文書化したが、そのうちの 21 件は国家機関による超法規的な殺害であった。UNJHRO はまた、102 人の犠牲者に影響を与えた、身体的な完全性に対する権利の侵害を 16 件記録した。これらの侵害は、ほとんどの場合、野党のメンバー、市民社会のメンバー、あるいはデモ参加者の活動を抑制したり、思いとどまらせたりするための威嚇の試みに起因するものであった。

50. UNJHRO は、2015 年 1 月 6 日から 27 日にかけて、選挙法案に反対する民衆蜂起 (その一部は暴力的なものであった) に対する弾圧の際、コンゴ全土において、コンゴ国家警察 (PNC)、共和国防衛隊 (GR)、憲兵隊 (PM)、国家情報機関 (ANR) の構成員により、少なくとも 20 人が超法規的な殺人の犠牲となり、77 人が負傷したことを記録した。

51. UNJHRO は、キンシャサで最も多くの人権侵害と犠牲者を記録した。UNJHRO が実施した調査では、2015 年 1 月 6 日から 22 日にかけて、キンシャサのいくつかの市町村で、2 人の女性と 4 人の子どもを含む少なくとも 16 人が超法規的に処刑され、少なくとも 64 人がコンゴ国家警察、憲兵隊、共和国防衛隊の構成員によって負傷したことが確認された。北キヴ州ゴマでは、2015 年 1 月 19 日から 23 日にかけて、UNJHRO は、少なくとも 4 人の男性 (うち 2 人は未成年) がコンゴ国家警察と憲兵隊の隊員らによって恣意的に処刑され、少なくとも 11 人 (うち 6 人は未成年) が負傷したことを記録した。

52. これらの行為の犠牲者は、デモの参加者 (政党、市民団体及び学生) および傍観者ならびに自宅にいた者の 2 つに分けられる。これらの犠牲者はいずれも、現場に配備された治安部隊 (コンゴ国家警察の隊員ならびに共和国防衛隊およ

び憲兵隊の兵士)によって射殺された。彼らは発砲の前に何らの警告もしなかったと伝えられている。

53. 一例として、2015年1月11日、キンシャサで、この日開催された集会に参加していた28歳の学生が、銃撃前に何の出頭命令も出さなかった治安部隊に下腹部と腕を撃たれた。参加者らは、デモが禁止されているという理由で警察から解散命令を受けたが、彼らはデモは違法ではないと主張し、異議を申し立てた。2015年1月19日、17歳の少年が、他の人々とともに自室の窓からデモを観察していたところ、警察官によって首を撃たれた。

...

55. 調査対象期間中、全国で少なくとも38人が、選挙プロセスに関する活動のために、殺害や逮捕の脅迫を受けた。こうした脅迫の出所を特定することが困難な場合もあったが、国家情報機関の当局者(6件)、国軍の兵士(1件)、地元の行政当局(4件)、司法当局(3件)など、国家機関から発せられたという証言もあった。例えば、2015年5月から6月にかけて、南キブ州ブカブで、地元ラジオ局のジャーナリストが、野党コンゴ国民連合〔Union pour la nation congolaise/UNC〕の党首の演説の抜粋を放送したことで、知事の調査室のメンバーから電話で脅迫を受けた。この放送は知事に対する攻撃と解釈された。

2. 人の自由と安全の権利

...

57. 一部の例では、コンゴ当局は恣意的および/または違法な逮捕・身柄拘束をやめさせるために一定の措置をとっていた。2015年1月のキンシャサでのデモの際、現場に配備された国防・治安部隊(コンゴ国家警察、共和国防衛隊、憲兵隊)がデモ参加者らを逮捕した。内訳は、2015年1月11日に5人、2015年1月12日に2人、2015年1月19日から21日にかけては45人の未成年者を含む399人であった。2015年1月11日と12日に逮捕された人々は、こう留の法的期限に従い、いくつかの確認手続きを経て期限の同日に釈放された。2015年1月19日から21日に逮捕された人々は、法的制限を超えてコンゴ国家警察と国軍の収容施設に留められた。そのうち237人は様々な検察庁や裁判所に移送されたが、その他の者はすべて釈放された。略奪、器物損壊、反乱、反乱運動への参加等で起訴され、裁判所に移送された人々は、適用される期限に抵触して、現行犯の手続きに従って裁かれた。実際、事件発生から10日後に裁判が開かれた事例もあった〔注67〕。UNJHROは、56人の被告人が無罪となり、47人に1月から10年の実刑判決が下されたことに留意している。

ウ [BAMF「グループ22-難民移民情報センター ブリーフィングノート」\(2015年1月19日\) <refworld 収録>](#)

キンシャサの警察官は、2015年1月12日、数百人の反政府デモ参加者が国会に入るのを防ぐため催涙ガスを使用した。コンゴ第3野党UNCのヴィタル・カムへ

レ党首によると、約 100 人の野党支持者が逮捕され、数人が銃創を負った。警察は、この衝突で 7 人の警察官が負傷したと発表した。野党主導の民衆運動「ソヴォン・ル・コンゴ [Sauvons le Congo]」が招集した集会は、2015 年 1 月 12 日に国会で第一弾が予定され、2016 年に予定されている選挙を遅らせる可能性のある改正法案に反対することを目的としていた。この法案は、2016 年に予定されている大統領選挙と国会議員選挙を実施する前に、国勢調査を実施することを義務づけている。野党のメンバーは、世論調査が何年も遅れ、2016 年憲法に従って立候補を許されなくなったジョセフ・カビラ大統領が退陣を先延ばしにすることを恐れている。2015 年 1 月 11 日、キンシャサのトリオンファル大通り付近で行われた反対派による同様の集会では、警察官が催涙ガスを使用して鎮圧した。

エ 記事「[コンゴ民主共和国：警察による反対派への弾圧が激化](#)」Afrikarabia (2015 年 1 月 14 日)

負傷者 12 人、反対派 51 人が逮捕される

翌 2015 年 1 月 12 日 (月)、コンゴの主要野党 (UDPS、UNC、MLC など) のメンバーは、キンシャサのアベニュー・デ・ランセイグマン [l'avenue de l'Enseignement] に集結することを決定した。デモ隊の目的は、国会議員が新選挙法案を審査する予定の国会議事堂 (Palais du Peuple) に向かって行進することだった。早朝、国家警察の大部隊がパレ・デュ・プルに通じる主要道路とアヴェニュー・ドゥ・ランセーニュメントに配備された。警察はまたもや、「事前の警告なしに実弾とガスを発射」してデモ隊を解散させようとした。約 10 人が負傷し、ママ・イエモ病院、セント・ジョセフ病院、いくつかの診療所で集中治療を受けている。NGO によると、「51 人が逮捕され、そのうち 44 人が国立治安庁 (ANR) に、7 人がルフングラ・キャンプに連行された」。これらの反対派のほとんどはその日の深夜に釈放された。デモを監視していたコンゴの人権活動家ティモテ・ムブヤとアメデ・ボボトビ [Timothée Mbuya et Amédée Bobotobi] は警察に「虐待」された。「これらの人々から発見された電話、書類、金銭は警察によって強要された」とも NGO は明らかにした。

<原文> **Une dizaine de blessés et 51 arrestations d'opposants**

Le lendemain, lundi 12 janvier 2015, ce sont les membres des principaux partis d'opposition congolaise (UDPS, UNC, MLC...) qui ont décidé de se rassembler sur l'avenue de l'Enseignement à Kinshasa. L'objectif des manifestants était de se diriger vers Palais du Peuple, siège du Parlement, où les députés devaient examiner le nouveau projet de loi électorale. Tôt dans la matinée, un important dispositif de la police nationale a été déployé sur les grands artères menant au Palais du Peuple et sur l'avenue de l'Enseignement. Là encore, la police a rapidement tenté de disperser les manifestants en tirant « à balles réelles et avec des gaz, sans sommation préalable ». Une dizaine de personnes ont été blessées et admis aux soins intensifs de l'hôpital Mama Yemo, de l'hôpital Saint-Joseph et

de plusieurs cliniques. Selon les ONG, « 51 personnes ont été arrêtées, dont 44 ont été acheminées à l'Agence Nationale des Renseignements (ANR) et 7 au camp Lufungula ». La plupart de ces opposants ont été relâchés, tard dans la nuit. Des défenseurs des droits de l'homme congolais qui observaient la manifestation, Timothée Mbuya et Amédée Bobotobi, ont été « maltraités » par les éléments de la police. « Les téléphones, documents et argent trouvés sur ces personnes ont été extorqués par les policiers » révèle également les ONG.

※ 原文フランス語。訳文は、DeepL.com（無料版）による機械訳を基に修正を加えた仮訳です。

オ [AI「訴えを棄却する！ 2015年から2018年間の残虐な弾圧の犠牲者への正義が否定される」](#)（2020年6月16日）<米国司法省 COI 収録>

1. 概要

2015年1月から2018年12月にかけて、コンゴの治安部隊は、カビラ大統領が憲法上認められている2期目を超えて権力の座にとどまろうとする試みに反対する抗議者らを残忍かつ組織的に取り締まった [注2]。2018年12月末までに、首都キンシャサを中心に少なくとも320人が死亡し、3,500人が負傷した。また、抗議行動に関連して、8,000人以上が恣意的に逮捕・身柄拘束された。民衆蜂起に対するこの蛮行は、2015年1月、2016年9月及び2016年12月の抗議デモ、さらに2017年12月から2018年2月にかけてカトリック信徒調整委員会（CLC）が組織した平和的な抗議行動において特に顕著であった。

…

2015年1月、治安部隊はキンシャサを中心に42人以上のデモ参加者を殺害し、200人を負傷させ、数百人を恣意的に逮捕した。殺害された者の中には、16歳の高校生ギャビー・マンバ [Gaby Mamba] と27歳のパトリック・ルビルカ [Patrick Luviluka] が含まれていた。本報告書の執筆時点では、彼らの遺族は、加害者が訴追されるのを待っている。…

…

3.3.1 タイムテーブル

…

2015年3月19日：キンシャサ郊外のマルク [Maluku] で集団墓地が見つかる。人権団体らは、この421体の遺体が先の抗議デモの間に殺害された人々のものであると疑っている。

…

4.1 恣意的な逮捕、収容及び集会禁止の制度化

2015年1月の前例のない抗議デモの後 [注85]、当局はすべての批判的な声や反対派の集会を国家の安全保障に対する脅威とみなした。当局は、カビラが大統領であることに反対する集団が組織する集会や平和的なデモに対し、全面禁止措置

を強化した。

...

5.1 2015 年 1 月

2015 年 1 月 19 日（月）、週末に国会下院が選挙法案を採択したことを受け、キンシャサでデモが発生した。

数千人の警察と国軍の隊員がマシンガンを含む実弾で武装してキンシャサの街頭に配備された [注 137]。この過剰な対応にもかかわらず、デモはルブンバシやゴマといった他の都市にも広がって民衆蜂起に発展した。UNJHRO によれば、その週を通じ、治安部隊はデモ参加者に実弾や催涙ガスを容赦なく撃ち込み、キンシャサを中心に少なくとも 43 人を殺害し、少なくとも 110 人を負傷させた [注 138]。

1 月 24 日、上院議長のレオン・ケンゴ・ワ＝ドンド [Léon Kengo wa-Dondo] がこの物議を醸した法案を撤回し、デモは停止した。

5.1.1 ギャビー・マンバ

1 月 19 日、16 歳の高校生ギャビー・マンバが、キンシャサ郊外のマテテの自宅にいたところを、警察に銃撃された。路上での銃撃戦が激化したとき、彼は窓から様子を見るために 2 階に上がっていた。彼は突然の銃弾を避けるために身をかがめたが、起き上がったときに首を撃たれ、その場で死亡した [注 139]。

怒った若者らが彼の死体を担いで荷車に乗せ、近くのマテテ警察署に運んだが、警察はすぐに彼らを追い払った。彼の叔母がアムネスティ・インターナショナルに語ったところによると、警官の一人が銃剣でギャビー・マンバの顔を切りつけるのを、家族は「恐怖におののきながら遠くから見ていた」 [注 140]。そして警察は、血を流した彼の遺体をジープに乗せ、走り去った。彼女は、「私たちは、彼らが彼をどこに連れて行ったのか突き止めようと彼らの後を追ったのですが、彼らを捕まえることは不可能でした。2 日間探した後、セント・ジョセフ病院の死体安置所で彼の遺体を見つけました。死体安置所の警備員によると、死体は警察のピックアップトラックによって近くの道路に投げ捨てられたとのことでした」 [注 141]。それでも家族はギャビー・マンバの遺体を引き取ることができなかった。他の 4 人の生存者と親族がアムネスティに語ったところによると、国家情報機関 (ANR) は遺体安置所の管理者に、遺族や死者を捜索する者が遺体に防腐処理を施したり、埋葬のために遺体を引き渡したりすることを拒否するように指示していた [注 142]。

...

※脚注の内容は、原文をご覧ください。

カ [HRW「コンゴ民主共和国：抗議デモ参加者への弾圧で死傷者 - 違法な銃撃と逮捕を止めよ」](#) (2015 年 1 月 24 日)

コンゴ民主共和国政府は、2015 年 1 月 19 日以来、抗議行動を取り締まるために違法かつ過剰な武力を行使していると、ヒューマン・ライツ・ウォッチは本日発表

した。デモ参加者らは、多くのコンゴ人がジョセフ・カビラ大統領が任期 2 期を超えて大統領の座に留まることを可能にする見ている選挙法改正案に抗議している。

…

ヒューマン・ライツ・ウォッチは、2015年1月19日、20日、21日にキンシャサで行われたデモにおいて、コンゴ政府治安部隊が少なくとも21人の市民を射殺したことを記録している。

殺された者のうち少なくとも6人は、デモに参加していたキンシャサ大学等の学生であった。ある高等応用技術学院 (ISTA) の学生は、19日のデモの際にクラスメートの一人が射殺されたこと次のように説明した。

「私たちがパレ・デュ・ピープルに向かって行進していた際、警察が道を封鎖したため私たちは通れなかった。彼らは群衆に向かって実弾を撃ち込んで、私たちを散らし始めた。その時、私たちの友人が被弾し、死亡した。その後、共和国防衛隊がやってきて、彼の遺体を持ち去った。私たちはみんな怒り、石を投げ始めた。すると、警察と共和国防衛隊は私たちに向けて本当に発砲し始めたので、私たちはみんな逃げ始めた。」

…

ヒューマン・ライツ・ウォッチは、キンシャサで治安部隊がデモ参加者や傍観者を銃撃し負傷させた13の事例を記録した。共和国防衛隊の兵士らは、マテテ [Matete]・コミュニンでのデモを解散させようとした際、男性がバルコニーから撮影していたのを見て、その男性の足を撃った。1月19日、カサ＝ヴブ [Kasa-Vubu]・コミュニンでは、デモ隊の群衆に向かって発射された銃弾が幼児を直撃し、彼女の臀部を損傷させた。

…

キ [記事「コンゴ民主共和国：公式の評価、政治的な結果... 1月のデモを振り返る」](#) Jeune Afrique (2015年2月6日)

「警察官を含む14人の死者を発表した後、…この事件により全国で死亡した者の数は、ゴマで4人、キンシャサで23人、合計27人と推定される」と、2月5日木曜日。キンシャサで行われた記者会見で政府報道官のランベルト・メンデ [Lambert Mende] は発表した。

…

国際人権連盟とアメリカの NGO ヒューマン・ライツ・ウォッチはそれぞれ別の報告書で、騒乱で約40人が死亡したと推定している。ヒューマン・ライツ・ウォッチは、「これらの犠牲者のうち少なくとも21人がコンゴの治安部隊によって射殺された」とし、政府が「デモを鎮圧するために違法かつ過剰な武力を行使した」と批判した。

ランベルト・メンデは NGO の報告書を拒否し、FIDH は「ますます過剰になり」、

「コンゴ政府に危害を加えようとしている」と非難した。また、死者は民間の警備員によって殺されたと主張した。

...

デモはたちまち暴動と略奪に発展した。抗議行動を弱めるため、政府はインターネットとテキストメッセージの遮断を命じた。その後、固定回線インターネットは復旧したが、落ち着いたとはいえ、モバイルインターネットとテキストメッセージは停止されたままであり、経済を麻痺させている。

...

報道官は、この騒乱で350人近くが逮捕されたと発表した。その結果、「数人の学生と若干の10代の未成年者を含む約130人が…釈放され、…行動を起こし、略奪を働いたため逮捕された者のうち49人の未成年者が、少年法廷の事件に付された」。

<原文> "Après avoir annoncé 14 morts, dont un policier, (...) le nombre de personnes mortes à la faveur de ces événements sur l'ensemble du territoire national est estimé aujourd'hui à 27 personnes tuées : 4 à Goma, 23 à Kinshasa", a déclaré jeudi 5 février le porte-parole du gouvernement, Lambert Mende, lors d'une conférence de presse à Kinshasa.

...

Dans des rapports distincts, la Fédération internationale des ligues des droits de l'homme et l'ONG américaine Human Rights Watch ont pour leur part estimé qu'une quarantaine de personnes sont mortes lors de ces troubles. "Au moins 21 de ces victimes ont été tuées par balles par les forces de sécurité congolaises", avait précisé Human Rights Watch, reprochant au gouvernement d'avoir "eu recours à une force illégale et excessive pour réprimer les manifestations".

Lambert Mende avait récusé les bilans des ONG, accusant la FIDH d'être "de plus en plus excessive" et de chercher à "nuire au gouvernement congolais". Il avait par ailleurs affirmé que les morts avaient été tués par des vigiles privés.

...

Les manifestations avaient rapidement viré à l'émeute et aux pillages. Pour affaiblir la contestation, le gouvernement avait ordonné la coupure d'internet et des SMS. Depuis, l'internet fixe a été rétabli, mais malgré le retour au calme l'internet mobile et les SMS restent suspendus, sclérosant l'économie.

...

Après les troubles, il avait annoncé près de 350 arrestations. Bilan : "130 (personnes) à peu près, dont plusieurs étudiants et quelques adolescents mineurs, (...) ont été remis en liberté, (...) et 49 mineurs parmi les interpellés, qui ont agi, qui ont pillé, ont été mis à la disposition du juge des enfants".

...

※ 原文フランス語。訳文は、DeepL.com（無料版）による機械訳を基に修正を加えた仮訳です。

ク [AI「犯罪者のように扱われる：コンゴ民主共和国で選挙を控え、反対派を沈黙させる競争」](#)（2015 年 11 月 26 日）<refworld 収録>

概要

...

2015 年 1 月、国会に提出された物議を醸した法案は、国会議員選挙及び大統領選挙を時間のかかる国勢調査プロセスに関連づけることで遅らせ、カビラ大統領に 2016 年以降も権力の座に留まる可能性を与えようとする試みと広く受け止められ、抗議とさらなる逮捕を引き起こした。治安部隊は過剰な武力で抗議デモを鎮圧し、数百人を逮捕した。抗議行動中の過剰な武力行使を監視していた人権擁護者のクリストファー・ンゴイ [Christopher Ngoy] は、国家情報機関 (ANR) に逮捕され、21 日間隔離拘禁された。法的根拠のない容疑に基づく同人の裁判は続いている。2 人の野党指導者、アーネスト・キャビロ [Ernest Kyaviro] とシジル・ドウ [Cyrille Dowe] は、1 月の抗議運動の際に逮捕され、ANR の収容施設に移送され、配偶者との散発的な面会を除き、それぞれ 86 日間と 145 日間、隔離拘束された。両人とも、法案に反対する抗議運動に関与したことで、「市民的不服従」を扇動した罪で起訴されることになった。アーネスト・キャビロは禁錮 3 年の判決を受けた。シジル・ドウは 2015 年 10 月 7 日に無罪となった。

...

ANR が職務権限外で活動している

...

アーネスト・キャビロは、国家の安全を損ない、市民的不服従及び反乱を扇動した容疑で捜査を受けていた。アムネスティ・インターナショナルが閲覧した同人の移送ファイルの中で、ANR は、1 月 19 日から 22 日にかけてゴマで行われた抗議行動は、国会での選挙法改正を妨害し、政府を転覆させるために組織されたものであるとして、容疑を正当化している。実際、抗議者らは選挙法改正案への不支持を示していた。これは暴力的な手段で政府を転覆させようとしたのではなく、政治的意見を表明する正当な方法だった。合法的で平和的な抗議行動が暴力的になっても、暴力的な政府転覆の扇動にはならない。平和的集会と結社の自由に関する国連特別報告者が強調しているように、「公的集会は、そうでないことが証明されるまでは、平和的かつ合法的であると推定されるべきである」[注 108]。孤立した暴力行為や、略奪のような他の処罰されるべき行為は、平和的な個人の平和的集会の自由に対する権利を奪うものではなく、主催者はそれに対して責任を負うべきでない [注 109]。合法的な抗議活動は、たとえ暴力的になったとしても、国家の安全を脅かすものとして分類されるべきではない。

...

ケ ACLED「事件データベース>コンゴ民主共和国」(2020年10月18日最終閲覧)

武力紛争位置・事件データプロジェクト (ACLED) のデータベースから抽出した事件データのうち、2015年1月10日~同月19日までのキンシャサにおける反政府抗議デモに関連した情報として次のものが見つかりました。

注：現在、ACLED の事件データベースは、過去3年分の事件しか抽出できません。
下記データは、2020年10月18日付けで抽出していたデータの抜粋です。

日付：2015年1月11日

事件の種類：抗議デモ>デモ参加者に対する過度の武力

場所：キンシャサ

情報源：Radio Okapi

備考：学生が、禁止とされたデモの追払い中に、警察が発砲した複数の銃弾を受けた。

日付：2015年1月11日

事件の種類：抗議デモ>暴力的な抗議デモ

場所：キンシャサ

情報源：RFI ; Radio Okapi ; AFP

備考：約300人(UNC、MLC、UDPS、社会統合戦線(FIS)のメンバーを含む)が、選挙法改正に反対するデモ行進に参加した。デモ行進は、デモ参加者を殴打して催涙ガスを発射した警察による暴力によってすぐに消散させられた。15人が負傷し、30人が逮捕された。また、警察はデモ参加者に向けて発砲し、FIS代表を含む数人が銃弾を受けたと報じられている。警察は、デモ隊は暴力的であって投石を行い、警察官7人とトランスコ・バスの従業員4人が負傷したと主張している。

日付：2015年1月12日

事件の種類：抗議デモ>抗議デモと介入

場所：キンシャサ

情報源：Radio Okapi

備考：野党は選挙法案に抗議し続けている。警察は催涙ガスと発砲でデモ隊を解散させようとした。

日付：2015年1月19日

事件の種類：暴動＞暴力的な抗議デモ

場所：キンシャサ

情報源：Deutsche Welle

備考：キンシャサ市街に集まったデモ隊に対し、警察は催涙ガスと実弾を発射した。タイヤが燃やされ、群衆は警察に投石した。ヒューマン・ライツ・ウォッチは、2015 年 1 月 19 日から 21 日にかけてのキンシャサのこの抗議デモで、36 人が死亡したと報告している。政府はこれを否定し、ゴマでの 4 人を含む合計で推計 27 人が殺害されたとしている。

日付：2015 年 1 月 19 日

事件の種類：抗議デモ＞デモ参加者に対する過度の武力

場所：キンシャサ

情報源：AFP

備考：国会議事堂付近で警察がデモを解散させようとした際、22 歳の男性が負傷した。また、大学近くの学生集会を解散させるために警察が発砲し、2 人の若者が負傷したと報告されている。

参照：

(報告等)

アムネスティ・インターナショナル (AI) 「Dismissed! Victims of 2015-2018 brutal crackdowns in the Democratic Republic of Congo denied justice (訴えを棄却する！2015 年から 2018 年の間の残虐な弾圧の犠牲者への正義が否定される)」(2020 年 6 月 16 日)、オンライン：

<https://www.justice.gov/eoir/page/file/1286041/download>

_____ . 「Treated Like Criminals: DRC's Race To Silence Dissent In The Run Up To Elections (犯罪者のように扱われる：コンゴ民主共和国で選挙を控え、反対派を沈黙させる競争)」(2015 年 11 月 26 日)、オンライン：

<https://www.refworld.org/docid/565824924.html>

国連合同人権事務所 (UNJHRO) 「Report of the United Nations Joint Human Rights Office on Human Rights and Fundamental Freedoms during the pre-electoral period in the Democratic Republic of the Congo between 1 January and 30 September 2015 (コンゴ民主共和国における 2015 年 1 月 1 日から 9 月 30 日までの選挙前期間の人権及び基本的自由に関する国連合同事務所報告)」(2015 年 12 月)、オンライン：

https://www.ohchr.org/sites/default/files/Documents/Countries/CD/UNJHRODecember2015_en.pdf

スウェーデン移民庁法律及び出身国情報専門機関 (Lifos) 「Situationen för oppositionella

i Demokratiska republiken Kongo (コンゴ民主共和国：野党メンバーの状況)
(2016 年 5 月 17 日)、オンライン：

<https://coi.euaa.europa.eu/administration/sweden/PLib/160517101.pdf>

ドイツ連邦移民難民庁 (BAMF) 「Gruppe 22 - Informationszentrum Asyl und Migration, Briefing Notes, 19. Januar 2015 (グループ 22 - 難民移民情報センター ブリーフィングノート)」(2015 年 1 月 19 日)、オンライン：

<https://www.refworld.org/docid/54cf8f954.html>

ヒューマン・ライツ・ウォッチ (HRW) 「DR Congo: Deadly Crackdown on Protests - Halt Unlawful Shootings, Arrests (コンゴ民主共和国：抗議デモ参加者への弾圧で死傷者 - 違法な銃撃と逮捕を止めよ)」(2015 年 1 月 24 日)、オンライン：

<https://www.hrw.org/news/2015/01/24/dr-congo-deadly-crackdown-protests>

(記事等)

フランス通信社 (AFP) 「Deadly clashes as thousands protest Kabila reign in DRC (コンゴ民主共和国でカビラ支配に数千人が抗議し、死傷者を出す衝突)」AFP via France 24 (2015 年 1 月 19 日 (同月 20 日修正))、オンライン：

<https://www.france24.com/en/20150119-dead-crackdown-anti-kabila-protests-dr-congo-kinshasa>

Afrikarabia 「RDC : la répression policière s'accentue sur l'opposition (コンゴ民主共和国：警察による反対派への弾圧が激化)」(2015 年 1 月 14 日)、オンライン：

<https://afrikarabia.com/wordpress/rdc-la-repression-policiere-saccentue-sur-lopposition/>

Jeune Afrique 「RDC : bilan officiel, conséquences politiques... Retour sur les manifestations de janvier (コンゴ民主共和国：公式の評価、政治的な結果... 1 月のデモを振り返る)」(2015 年 2 月 6 日)、オンライン：

<https://www.jeuneafrique.com/33432/politique/rdc-bilan-officiel-cons-quences-politiques-retour-sur-les-manifestations-de-janvier/>

_____ . 「RDC : vives tensions autour du projet de modification de la loi électorale (コンゴ民主共和国：選挙法改正法案を巡って緊張が高まる)」(2015 年 1 月 12 日)、オンライン：

<https://www.jeuneafrique.com/35566/politique/rdc-vives-tensions-autour-du-projet-de-modification-de-la-loi-lectorale/>

Voice of America 「RDC : l'opposition tente de bloquer l'examen du projet de la nouvelle loi électorale (コンゴ民主共和国：野党が新選挙法案の審議を阻止しようと動く)」

(2015 年 1 月 12 日)、オンライン：<https://www.voafrique.com/a/rdc-l-opposition-perturbe-l-examen-de-la-nouvelle-loi-electorale/2595209.html>

<https://www.sangoyacongo.com/2015/01/la-rdc-replonge-dans-la-dictature.html>

(その他引用しなかった参考情報)

BBC 「DR Congo unrest: Catholic Church backs protests」(2015 年 1 月 21 日)、オンライ

ン：<https://www.bbc.com/news/world-africa-30913739>

Reuters 「Church backs Congo protesters, rights group says 42 killed」 (2015 年 1 月 21 日)、
オンライン：<https://jp.reuters.com/article/us-congodemocratic-politics-protests/church-backs-congo-protesters-rights-group-says-42-killed-idUSKBN0KU0UI20150121>

democratiechretienne.org 「FLASH: MEETING DE « SAUVONS LA RDC » : MONITORING A PARTIR DE 10H00 DU BOULEVARD TRIOMPHAL AVEC MISES A JOUR CONTINUELLES (フラッシュ：「野党連合ソヴォン・ル・コンゴミーティング：10 時 00 分からトリオンファル大通りで監視、継続的な更新あり)」 (2015 年 1 月 11 日)、オンライン：<https://democratiechretienne.org/2015/01/11/flash-meeting-de-sauvons-le-congo-monitoring-a-partir-de-10h00-du-boulevard-triompal-avec-mise-en-jour-continuelles/>

〔了〕